

授業科目名	教育哲学
科目番号	CB22011
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB金1,2
担当教員	平井 悠介
授業概要	個性の育成と社会性の育成をはじめとした、教育を取り巻く価値の二項対立に注目しながら、現代の教育に関わるさまざまな問題と、教育のあり方を検討していく。その際、近代教育理論・教育思想に課題解決の糸口を求めていき、問題の本質を深く探究していく。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	(1) 授業で取り上げる現代の教育課題について他者と討議することができる。 (2) 個性の伸張と社会性の育成の両立の課題について、近代教育理論・教育思想をふまえて考察し、自らの考えを論述できる。
授業計画	第1回 「教育とは何か」という問い:「教育」の定義を考察、理解する 第2回 教育問題を分析する方法:教育哲学的思考・方法を議論を通じて理解する 第3回 価値多元的社会と寛容社会1:価値多元化社会の特徴と課題を理解する 第4回 価値多元的社会と寛容社会2:多文化教育のあり方を考察する 第5回 初等教育の目的とは何か1:教育基本法における教育目的を中心に分析する 第6回 初等教育の目的とは何か2:教育目的の多面性(個の尊重/社会性育成)を考える 第7回 初等教育における教育財をいかに分配するか1:教育の機会均等について理解する 第8回 初等教育における教育財をいかに分配するか2:教育の機会均等のあり方について考察する 第9回 学校選択制の問題:学校選択制が導入された時代的背景と意義を理解する 第10回 学校選択制を分析する:選択の自由/結果の平等という観点から選択制を評価する 第11回 現代教育とデューイの学校論1:デューイの教育論を理解する 第12回 現代教育とデューイの学校論2:学びの共同体論について検討する 第13回 全国学力・学習状況調査を読む:学力を調査する意味を理解する 第14回 学力格差と公平:教育格差の世代間継承について理解する 第15回 学力格差是正の方法:「効果のある学校」論を考察し、学びあう効果を理解する 第16回 道徳教育と「心の問題」:生命尊重の道徳教育の可能性と課題を考察する 第17回 道徳性の発達理論とフェミニズム:ケアの倫理について理解する 第18回 近代教育思想とフェミニズム1:近代教育思想に対するフェミニズムの批判を検討する 第19回 近代教育思想とフェミニズム2:教育的思考におけるケアの位置を考察する 第20回 教育を哲学すること:個性の伸長と社会性の育成の両立のあり方を考察する 本授業は対面型授業により実施します。
成績評価方法	受講状況(グループワーク等の授業に対する積極性・リアクションペーパーの内容含む)40% および 課題提出(総括レポート)60% を基礎に、総合的に評価する。 授業時の学習成果、到達目標に掲げた各項目に関わるレポートの成績により、到達目標を十分満たしたと判断された場合、合格(A+, A, B, C)のいずれかの評価となる。
学修時間の割り当て及び授業外における学修	講義(70%)、意見共有を通じた集団学習(30%) 事前学習、事後学習を含め、1回あたり150分の授業外における学修を要する。

方法	事後学習の成果は、リアクションペーパーにまとめ、次回に提出する。 授業終了時に配付された資料や提示された課題をもとに、事前学習を行うこと。
教材・参考文献・配付資料等	使用しない。授業時に、資料を含むレジユメを配布予定。
オフィスアワー等（連絡先含む）	金4 ただし事前にメール連絡(宛先は授業時配布のレジユメに記載)の上であれば、随時。
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	受講生同士の議論、受講生との対話を随時授業に盛り込むアクティブ・ラーニングを行っていきたい。そのため、受講生には授業への主体的な参加だけではなく、事前・事後の準備・発展学習に時間をかけて取り組む姿勢を望む。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー (TF) ・ティーチングアシスタント (TA)	
キーワード	教育における個性と社会性，自由と平等，競争と協働，正義とケア